

第4分科会「岐阜県における学校飼育動物への取組み」

谷川 徹



1 県内における現状

(社)岐阜県獣医師会では平成9年以来、県内42市町村のうち22市町村1小学校と学校飼育動物サポート事業契約を結び、病原性大腸菌O-157やサルモネラ菌、その他寄生虫卵検査、ニューカッスル病ワクチン接種、飼育指導など、開業獣医師、家畜保健所獣医師、保健所という、動物愛護や疾病治療、家畜衛生と防疫、そして公衆衛生を司る専門家が一体となり学校訪問を行っている。また県内各地域において年1回の「学校飼育動物シンポジウム」を平成6年以来15回開催し、主に教育関係者、PTA、市民を対象に学校飼育動物のあり方の提言、情報提供を行ってきた。

事業を始めた当初から積極的に行行政や自治体に働きかけを行ない、契約締結市町村の数を増やしてきた。この取り組みに対する本会の基本姿勢は、獣医師の立場を逸脱しないことである。教育に関しては教師という専門家にお任せし、我々は動物の飼育上の諸問題への対応に徹し、この活動に関わるすべての者が、それぞれの役割を分担することで、より一層の教育効果のために協力し合うシステム作りを推進することである。その中で、学校がより相談しやすい獣医師会組織体制の構築を目指している。

昨年度は動物飼育法の一つとしてケージ飼育を紹介し、県教委を通して希望の

あった学校にケージと動物を無料で配布し、教育現場でどのように生かされたかをシンポジウムで発表してもらう機会を作った。

県下の学校飼育動物の飼育数は近年減少の一途をたどっている。1校当たりのウサギ、ニワトリの平均飼育数を見てみると、平成16年でウサギ4.7頭、ニワトリ2.2羽、平成20年でウサギ3.6頭、ニワトリ1.7羽であった。



2 ケージ飼育の実践

一昨年、学校での動物飼育活動に関心の高い教育者から、ケージ飼育の紹介をいただいた。これについて獣医師会内部でも検討をした結果、ケージ飼育の実践情報の収集を目的に、県教委を通じて希望校を募った。その結果県内9校の希望があり、ミニウサギ、モルモット計15頭と1頭当たり1つのケージを無料配布した。また各校に担当獣医師を配置し、相談しやすい体制をとった。

ケージ飼育の利点として、より身近に動物を置くことで生命の尊さ、動物のぬくもりを感じることができること、持ち運びが可能なため、今まで問題になっていた休日の管理についても対応しやすくなることが考えられる。欠点として動物アレルギー体质のある児童への健康的影響、動物へのストレスなどが挙げられる。

実際にケージ飼育を行った学校に、シンポジウムでその成果を発表いただいた。その例を紹介する。

< A 校 > 身近に置くことで児童の飼育意欲がわき、動物への愛情もより大きくなった。ちょっとした症状の変化ですぐに病院へ連れて行くことができ獣医師との連携が取れた。

1 年生の生活科の絶好の教材となった。職員室にケージを置いているが、児童より先生の癒しになっている。

< B 校 > ウサギをホームステイさせ、学校、保護者と児童を交えた飼育活動を行った。当初 5 頭のウサギのケージ飼育を始めたが、うち 2 頭がすぐに死亡、1 頭がたまたま休日に連れて帰ったホームステイ先で死亡した。児童はペットロスになり落ち込んでしまったが、同級生の慰めの言葉で立ち直ることができた。命との対峙には、時に痛みを伴うことがあることも実感した。

< C 校 > 特別支援学級でケージ飼育を始めた。動物を触ることができなかった児童が喜んで触れるようになった。ウサギの絵が上手に書けるようになった。毎日学校に来るのが楽しみになった。

短期的な考察だが、実際にケージ飼育を行ってみて、教室から離れた飼育舎と比較し手軽に動物に接することができたり、成長の様子が見て取れたりすることにより親近感がわいたこと、大きな設備も要らず、比較的容易に飼育が始められること、清潔であること、移動可能であること、飼育当番以外にも多くの生徒がかかわりを持てるなどがある、有効性として挙げられる。

譲渡したウサギ、モルモットが生後 1 ヶ月ということもあってか、15 頭中 5 頭

の死亡報告を受け、もっと暖かい時期にもう少し成長した動物を譲渡すべきだったという反省もあった。しかし生き物を飼育することは決して良いことだけではなく、一見不条理に思えることであっても、逆にそれを教育に役立てるという、先生方のご努力を知り、頭が下がる想いがした。



3 今後の学校飼育動物活動

学校飼育動物への取り組みの在り方として、学校からの要望に獣医師が応えるというのがあるべき姿であろうが、PTA や教委との動物飼育に対する意識のズレ、また予算措置の問題などから、両者が納得のいく対応は難しいのが現実である。そんな中でも出来るだけ学校の負担が少なく、それでいて教育効果が期待でき、積極的に取り組むことができる動物飼育法を、オーダーメイドで紹介するのも我々獣医師の役目と感じている。

学校の立場から一番ネックになるのが動物病院の敷居の高さと思われる。学校側も動物を飼育するのであれば、その知識を身に付けることはもちろん、それな

りの予算措置が必要であることを認識すべきであろう。

「教育効果の向上＝獣医師会との連携」という理解が、当然のこととして受け入れられるシステムの構築が重要と思われる。

本年度から教育関係者、獣医師、獣医

・教育大学生が参加し「ぎふ学校飼育動物の会」が発足し、今までにない風が吹き始めており、今後年数回の交流会、学校飼育動物シンポジウムの共同企画など、それぞれの立場を生かし、垣根を取り払った交流ができればと願っている。

学校飼育動物委託事業

委託者	業務名称	委託料	業務場所	備考
岐阜市	学校飼育動物サポート事業業務委託	819,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校・幼稚園 45校（園）柳津町合併	H11.7～
山県市	小学校飼育動物サポート事業委託業務	189,000円（消費税及び地方消費税9,000円含む）	小学校 6校	H14.4～（高富町）
各務原市	学校飼育動物サポート事業業務委託	472,500円（消費税及び地方消費税22,500円含む）	小学校 15校	H15.3～（川島町）
本巣市	各小学校飼育動物サポート事業委託単価契約書	240,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校 8校	H19.1～
本巣市	各園飼育動物サポート事業委託 単価契約書	120,000円（消費税及び地方消費税含む）	幼稚（児）園 3園・子どもセンター 1	
笠松町	学校飼育動物愛護・管理指導委託	94,500円（消費税及び地方消費税4,500円含む）	小学校 3校	H15.3～
瑞穂市	小学校・幼稚園飼育動物サポート業務委託	220,500円（消費税及び地方消費税10,500円含む）	小学校 6校、幼稚園 1園	H22.4～
岐阜大学	学校飼育動物サポート事業業務委託	31,500円（消費税及び地方消費税1,500円含む）	岐阜大学教育学部附属小学校	H20.6～
大垣市	学校飼育動物愛護・管理指導委託	300,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校 13校・幼稚園 17園	H12.9～
揖斐川町	学校飼育動物飼育環境等指導事業	80,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校 4校	H10.4～
神戸町	学校飼育動物愛護・管理指導委託	63,000円（消費税及び地方消費税3,000円含む）	小学校・幼稚園・幼稚園（3）	H14.4～
池田町	学校飼育動物愛護・管理指導委託	20,000円（消費税及び地方消費税含む）	組合立養基小学校	池田町 契約別 (H18～)
八百津町	学校飼育動物サポート事業	63,000円（消費税及び地方消費税3,000円含む）	小学校 3校	H11.6～
美濃市	学校飼育動物飼育環境等指導委託事業	84,000円（消費税及び地方消費税4,000円含む）	小学校 4校	H11.4～
関市	学校飼育動物サポート事業	357,000円（消費税及び地方消費税17,000円含む）	小学校 17校	H11.9～（武）

				(芸川町)
坂祝町	坂祝小学校飼育動物サポート事業委託業務	21,000円（消費税及び地方消費税1,000円含む）	町立坂祝小学校	H11.4～
坂祝町	坂祝幼稚園飼育動物サポート事業委託業務	21,000円（消費税及び地方消費税1,000円含む）	町立坂祝幼稚園	H11.4～
川辺町	学校飼育動物サポート事業	63,000円（消費税及び地方消費税3,000円含む）	小学校 3校	H11.7～
美濃加茂市	学校飼育動物サポート事業委託業務	168,000円（消費税及び地方消費税8,000円含む）	市内各小学校（三和小除く）	H9.6～
可児市	各小学校・幼稚園・保育園飼育動物サポート事業	210,000円（消費税及び地方消費税10,000円含む）	小学校 6校、市立幼稚園1園、保育園3園	H16.4～
中津川市	小動物ふれあい環境指導委託業務	300,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校 8校	H10.6～
土岐市	小動物ふれあい環境指導委託業務	99,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校 9校（附属幼稚園7園含む）	H16.6～
飛騨市	学校飼育動物サポート事業（予定）	20,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校 2校	H17.4～
下呂市	学校等飼育動物の管理指導業務委託（予定）	120,000円（消費税及び地方消費税含む）	小学校及び保育園 12校（園）	H20～
高山市	学校飼育動物巡回指導（飛騨支部契約）	260,000円（謝礼）	小学校 10校 保育園 5園	H11.4～

4 業務委託内容

- (1) 学校飼育動物の現状調査と飼育施設の適性管理指導
- (2) 動物の飼育指導及び保健衛生指導
- (3) 飼育動物の健康診断
- (4) 家畜伝染病予防法にもとづく予防接種（鶏類に対するニューカッスル病ワクチン接種）
- (5) 人畜共通感染症予防指導（O-157（ウサギ）、サルモネラ（鶏）糞便検査）
- (6) 児童や教職員を対象にした講習会の開催
- (7) 砂場の虫卵検査、大腸菌群まで検査

5 岐阜県獣医師会 学校飼育動物シンポジウム一覧

	場所	基調講演	講演	講演、発表など	参加者数
平成8年度	県民ふれあい会館（岐阜市）	「子育てと動植物のかかわり」 国立教育研究所 教育研究部長 中野重人	「学校での動物飼育のあり方と学校獣医師の必要性」 岐阜県獣医師会 佐久間一也	「症例からみた学校飼育動物」 岐阜県獣医師会 小澤明広	
平成9年度	美濃加茂市文化会館	「動物の飼育活動と保健衛生」 岐阜県教育委員会 保健体育課 小中学校統括 渡辺周行	「学校飼育動物と人畜共通感染症」 厚生省乳肉衛生課 加地祥文	「初の学校巡回を振り返って」岐阜県獣医師会 小澤明広	

平成 10 年度	恵那市 文化セ ンター	「学校における動物飼育の教育的意義」 文部省初等中等局小学校課 教科調査官 宮川八岐	「学校飼育動物の現状と教育的意義」 東濃教育事務所教育課 大畠雅幸	「獣医師からみた学校飼育動物における委託業務について」 岐阜県獣医師会 山村宣文	
平成 11 年度	羽島市 文化セ ンター	「新しい教育課程における生き物とのかかわり」 文部省初等中等教育局 小学校課 教科調査官 嶋野道弘	「学校での環境衛生と動物由来の感染症対策」～獣医師に寄せる期待 羽島市民病院 名誉院長 後藤明彦	分科会 「うさぎの習性と飼育方法」 「うさぎ・げっ歯類の臨床」	
平成 12 年度	ソフト ピアジ ヤパン (大垣 市)	「地域に開かれる学校づくり」 文部省初等中等教育局 小学校課 教科調査官 嶋野道弘	「動物由来感染症0-157, サルモネラについて」岐阜県健康福祉環境部 佐橋勝己	分科会 「うさぎの習性と飼育方法」 「生徒たちと動物とのふれあい」	
平成 13 年度	JAひだ 本店 (高山 市)	「学校と地域で進める豊かな教育風土づくり」 文部省初等中等局 視学官 嶋野道弘	「動物からの感染症について」 岐阜県健康福祉環境部 田村直彦	「学校と身近な獣医師とのよりよい連携を目指して」	
平成 14 年度	多治見 市文化 会館	「学校教育における飼育動物の意義とそのあり方」 文部省初等中等局 視学官 嶋野道弘	「動物由来感染症について」 岐阜県健康福祉環境部 田村直彦	「これからの学校飼育動物のあり方を求めて」4小学校, 獣医師会	86名
平成 15 年度	可児市 文化創 造セン ター	「学校教育と動物飼育」 文部省初等中等局 視学官 嶋野道弘	「かわいがってこそ, 子供を育てる動物たち」 お茶の水女子大学 こども発達研究センター 客員研究員 中川美穂子	「学校における飼育動物の環境づくり」 関市教頭八木邦彦 「岐阜県における学校飼育動物への取り組みと現状について」岐阜県獣医師会 小澤明広	132名
平成 16 年度	各務原 市総合 教育メ ディア センタ ー	「学校教育と動物飼育」 文部省初等中等局 視学官 嶋野道弘	「生命尊重の心を育む動物飼育」 栃木県 木幡小学校 教諭 町井富子	「岐阜県における学校飼育動物への取り組みと現状について」岐阜県獣医師会 酒井康宏	122名
平成 17 年度	岐阜市 メリサ ホール	「生命尊重の教育と動物飼育」 文教大学教授 嶋野道弘	「動物からもらった安心感」 栃木県 木幡小学校 教諭 町井富子	「本県の三位一体方式による動物飼育サポート」岐阜県獣医師会 酒井康宏	144名
平成 18 年度	羽島市 文化セ ンター	「子供が動物をいじめるとき: 動物虐待の心理」	「我が校での動物飼育とその成果」 関市武儀中学校	「三位一体方式での学校飼育動物サポート事業」岐阜県獣医	125名

年度		帝京科学大学 助教授 横山章光	校長 小椋郁夫	師会 柴田真治	
平成 19 年 度	美濃市 中央公 民館	「動物飼育を通して命 の大切さと理科を学ぶ 一言葉と体験を重視し た教育を進めるため に」 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 総括研 究官 鳩貝太郎	「動物を飼育して、 子どもや先生が感 動するとき」 美濃市教育委員会 学校教育課 課 長 小椋郁夫		119名
平成 20 年 度	県民文化ホー ル未来 会館 (岐阜 市)	「学校における動物飼 育の役割－動物から学 び生きる力を培う－」 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 総括研 究官 鳩貝太郎		「学校内におけるケ ージ飼育の実践報告」 可茂教育事務所 学 校支援課 課長補佐 堀部昇 他3小学校	190名

(社団法人岐阜県獣医師会開業部会)

